

中島 敏明 (公益社団法人二科会理事、千葉県美術会常任理事、日本美術家連盟会員)

福島県南相馬市に生まれ、千葉県袖ケ浦市に在住する。山本不二夫先生の絵に惚れこみ、本格的に絵を学ぶ。山本先生の「安易な模倣、アカデミックな手法を排し、偶成的な独自の表現により、鑑賞者に訴えるのだ」という言葉を胸に、会社務めを続けながら創作活動に励み画家を志した。夢の世界へ突入していく20代、内面描写の30代、elegyと慈愛をテーマに社会情勢や家族の精神概念を捉えようともがいた40代以降、画業50年の制作の中、作品は幾度となく変化を続けた。

作品制作に対する作者の言葉「自身の中に蓄積された日常の出来事を呼び起こし、絵空事の画面に呼び起こされた感性を投影し、具現化してちりばめる。絵画における感性に実態も答えもなく、制作者から放れると、鑑賞者に委ねられる。鑑賞者が観て感じたことが正しい答えとなる」



花籠 (1975) 50P



人形を抱く少女 (1982) 100P



I・哀・愛 (2008) 100F



6月の袖ケ浦公園 (2017) 37cm×87.8 cm 袖ケ浦市中央図書館蔵



Elegy '95-3 (1995) 100F

中島 敏明 略歴 Toshiaki Nakajima

- 1948 福島県南相馬市原町に生まれる
- 1971 山本不二夫先生に師事
- 1975 第60回二科展特選受賞
- 1994 第79回二科展二科賞受賞
- 1996 第8回国際美術大賞展 大賞受賞
第30回現代美術選抜展推薦 (文化庁)
- 1997 第3回オランダ紀行朝日チューリップ展大賞受賞
- 1998 第83回二科展会員努力賞受賞
- 2002 第87回二科展内閣総理大臣賞受賞
- 2003 現代美術選抜展推薦 (文化庁)
- 2006 南相馬市主催・中島敏明の世界展
- 2016 千葉県教育功労者 芸術文化部門表彰
- 2017 ART EXPO NEWYORK2017

